

食物学科（食物学専攻）

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

食に関する高度な基礎科学のおよび専門的知識を身につけ、食科学に関わる研究者、開発者として多職種と連携して社会貢献できる人材を育成する。長い伝統を通して培われた効果的な教育体系に基づき、食に関する最新の科学的知見を取り入れて展開させた系統的カリキュラムを通し、以下の能力の修得を教育目標とする。

- DP1 食品、調理、栄養を中心とした食と生活に関わる諸科学を広く学び、科学的知識・専門的技能を修得する。【大学 DP1・DP2】
- DP2 学修した食品、調理、栄養に関する科学的知識・専門的技能を用い、食に関する問題解決に応用することができる。【大学 DP1・DP2】
- DP3 食品、調理、栄養の視点から食物を総合的に理解するスペシャリストとして、多職種と連携して様々な問題に取り組む姿勢が身につく。【大学 DP1・DP3】
- DP4 生活や社会といった観点から食に関する様々な課題を見つけ、正しい科学的知識に基づいて解決方法を論理的に洞察し、情報発信・プレゼンテーションをすることができる。【大学 DP2・DP3】
- DP5 生活や社会に及ぼす食の影響や効果を生涯学び続け、食に関する様々な問題の解決に努めようとする積極的な姿勢が身につく。【大学 DP3・DP5】
- DP6 人々の健全な食生活の推進と健康の維持増進のために社会に貢献し、また食に関する諸問題に地球環境・SDGs を考えてグローバルな視点から取り組む意欲が身につく。【大学 DP4・DP5】